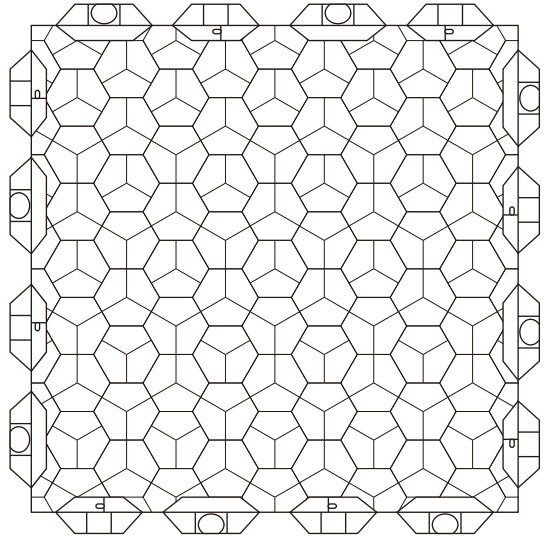
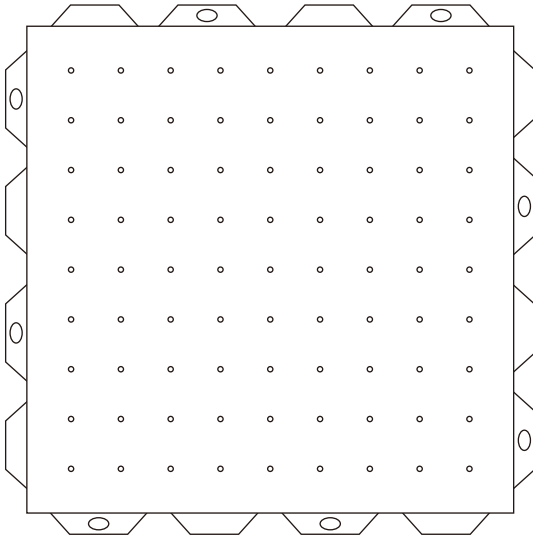


ウルトラベースフロア・コート

組立説明書



はじめに

この度はウルトラベースパネルをお求めいただき誠にありがとうございました。必ず当組立説明書を最後までお読みいただき作業を行ってください。本製品は安全について配慮して製造されていますが、取り扱いや作業上のミスが怪我につながる可能性もございます。不明点等がございましたら、ご購入の販売店または弊社までお問い合わせください。

目次

パネルの説明	2
準備する道具	3
パネル組立方法	3
オプション品組立方法	6
土壌面への設置について	8

⚠️ ご注意

- 組み立ての際は必ず当組立説明書をお読みください。
- ご使用前には目視等で破損等の異常の有無を確認してください。
- 夏場などの高温環境下での組み立ては熱中症の危険を伴いますので十分にご注意ください。
- 屋外(特に土壌面)に設置する場合は、雨天または地面が濡れた状態での設置はお止めください。
- 複数名で組み立ててください。
- 軍手を着用する等、安全に配慮した上、指や手を挟まないようにお気を付けください。
- のこぎり等でパネルを切断する場合は十分にお気を付けください。
- パネル上にハンマーなどの重量物を投げないでください。
- 特定箇所に荷重が集中する用途(自動車のジャッキアップ等)には適していません。
- 火器を使用しないでください。また、火気の近くに置かないでください。
- パネル保管時は地震などに備えて高く積まないでください。
- 本来の目的以外の用途で使用しないでください。
- 不良・破損等によって誘発される二次的損失については対応いたしかねます。
- 弊社では設置・撤去は行っておりません。

ウルトラベース正規輸入発売元

INOX東栄株式会社

WEB www.labinox.co.jp

MAIL inoxstaff@labinox.co.jp

本社 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町11-7(ダイセンビル)

TEL:03(5623)5681 FAX:03(5623)5682

大阪営業所 〒571-0030 大阪府門真市末広町32-5(タカヒロビル)

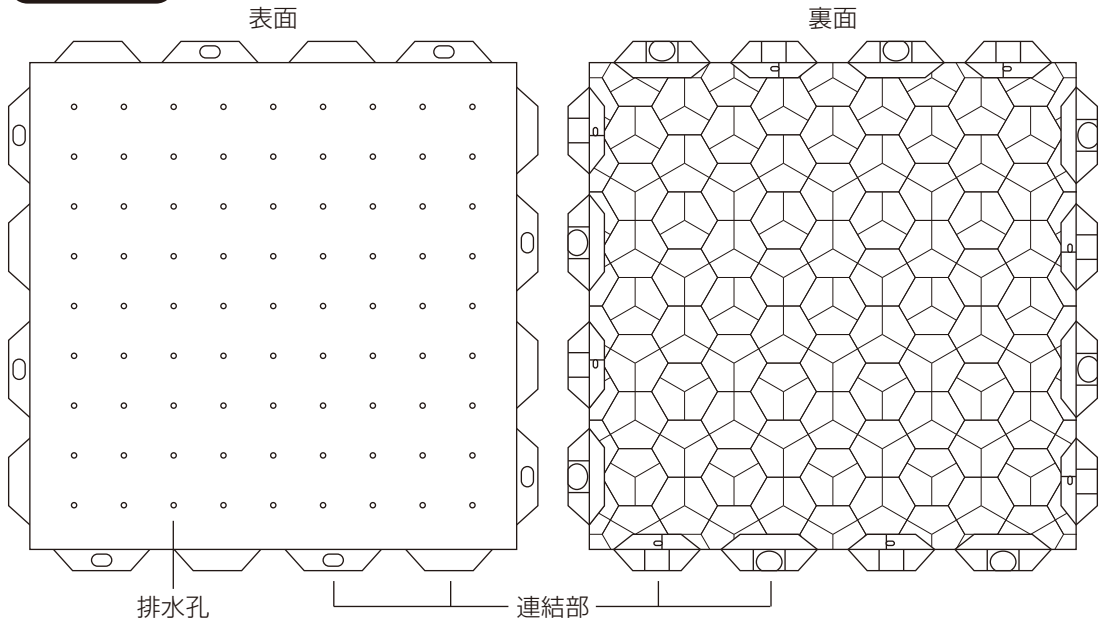
TEL:06(6908)4021 FAX:06(6906)1285

名古屋営業所 〒451-0053 名古屋市西区枇杷島5-21-27(西WELL'S-21)

TEL:052(524)3881 FAX:052(524)3886

1 パネルの説明

パネル本体



サイズ(連結部含む)	762mm×762mm×高32mm
サイズ(連結後の実質サイズ)	711mm×711mm×高32mm
面積(連結後の実質面積)	パネル1枚あたり:0.505m ²
重量	パネル1枚あたり:4.63kg
材質	ポリプロピレン(100%再生樹脂)
排水性(パネル下への排水量)	パネル1枚あたり:91L/分(1m ² あたり:180L/分)
耐荷重目安(静荷重)	21.1kgf/cm ² ~(300psi~)※1
耐久年数目安	約10年※2

※1:21℃時。裏面のハニカム構造の関係で特定箇所に荷重が集中する用途には向いていません。

※2:紫外線への露出等により左右されます。

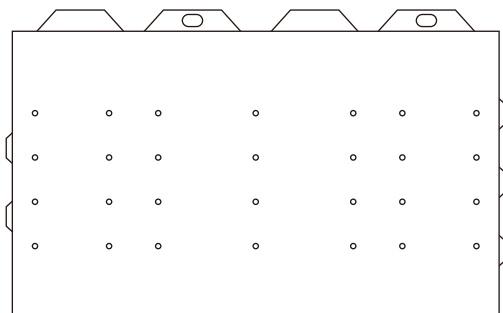
オプション品(別売)



パネルサイドパーツ



パネルコーナーパーツ



ADAスロープ

2 準備する道具

道具	用途
メジャーまたはコンベックス	各種測定用
ガイドライン用張り紐	パネルがまっすぐ組まれているか確認するためのガイドライン用
膝パッド	作業時の膝保護用
軍手または作業用手袋	怪我防止用
ハンマー	各種作業および固定ピン設置用
固定ピン・ペグ	パネルの仮留めが必要な場合
のこぎり	パネルカットが必要な場合
作業用ナイフ	ジオテキスタイル繊維を敷設する場合の繊維切断用

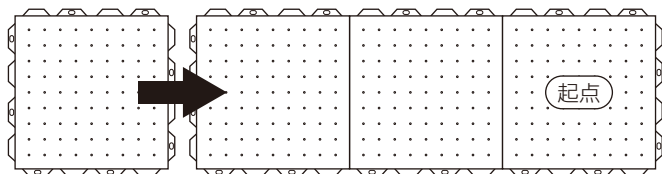
3 パネル組立方法 **▲ 作業前に必ずP1のご注意をお読みください**

- ① 設置場所のごみ等を取り除きます。
※土壌面に設置する場合は巻末の「土壌面への設置について」を必ずご確認ください。

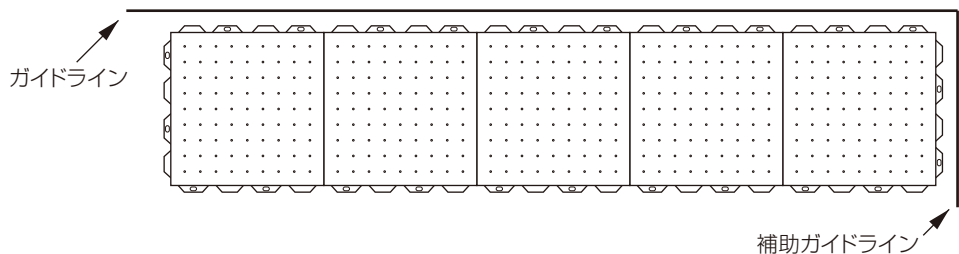
- ② 気温に慣らすために設置場所に1時間程度パネルを並べておきます。



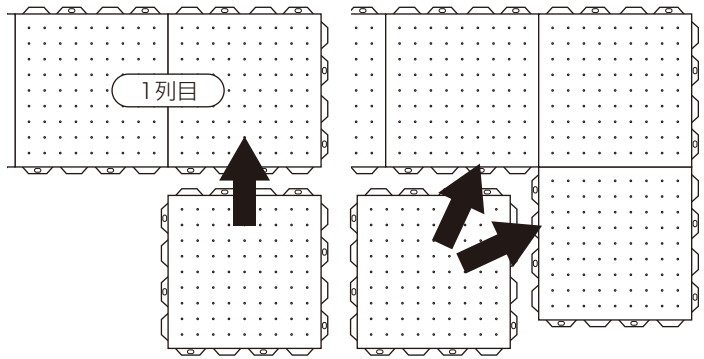
- ③ パネルが気温に馴染んだら、パネル設置場所の起点を決め、1列目のパネルを連結させます。



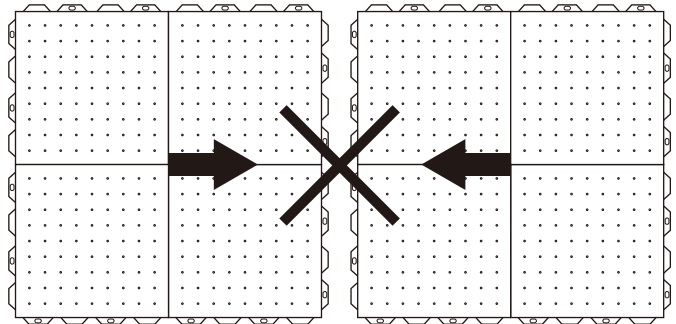
- ④ 広いエリアにパネルを設置する場合は、組み立てが進むにつれて列に歪みが生じると終盤になって連結できなくなる可能性があるため、あらかじめ張り紐でガイドラインを張り、ガイドラインに沿うように組み進めていくことを推奨いたします。
また、ガイドラインと直角になるように補助のガイドラインを張ることを推奨いたします。



- ⑤ 1列目のパネルを組み終えたら次に2列目の端のパネルをL字のように連結させます(図左)。L字に連結されたパネルの横に次のパネルをはめ込みます(図右)。矢印の方向に、両手で均等の力ではめ込みます。



- ※ 組み上がったパネル同士を連結させることが難しいため、上図の要領で1枚ずつ増設する方法を推奨します。



- ⑥ 組立てには2つの方法があります。いずれか、やりやすい方法で組み立ててください。

①押し込む方法

L字の角に合わせるようにパネルを均等に押し込みます。



②引き込む方法

連結したパネルの上に乗って自分の体重をかけながら引き込むため少し難しくなります。



- ⑦ 連結したパネルは連結部を密着させず、直射日光や温度変化による微妙な膨張を想定して、各パネルを連結した後にパネルの隙間(下表参照)を作っておきます。
1列目のパネルが組み終わった後、適切な隙間が確保されているか確認し、必要に応じて調節してください(下図のように足で隙間を調節することも可能です)。

パネル温度※	パネル色	パネル間の隙間
43℃	タン	1.59mm
	ウィローグリーン	1.59mm
	グレー	3.18mm
-43℃	タン	3.18mm
	ウィローグリーン	3.18mm
	グレー	4.76mm

※表中の温度は気温ではなくパネル温度です。



- ⑧ 3～4列組むごとにガイドラインを張り、列が真っ直ぐに組まれているか確認することを推奨いたします。

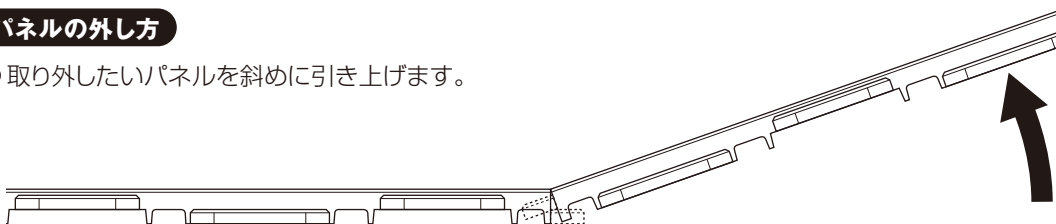


- ⑨ 設置場所がコンクリートのような硬い場所でない場合は、造園用固定ピンなどをパネルの排水孔を通して地面に挿してパネルを仮留めすることで、パネルのずれを防止することも可能です。

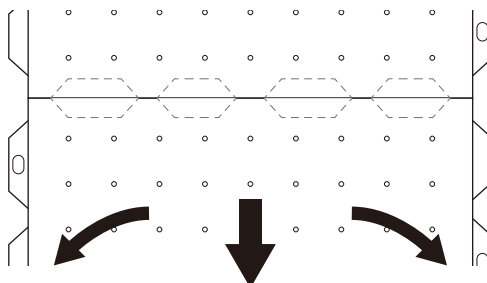


パネルの外し方

- ① 取り外したいパネルを斜めに引き上げます。



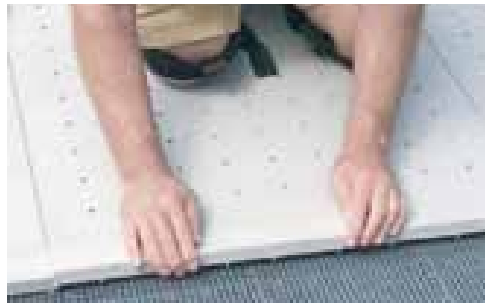
- ② パネルを引き上げたまま左右にねじりながら引き抜きます。
※すぐに外れない場合は①と②の作業を何度か繰り返してください。



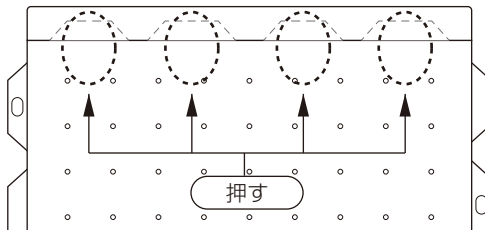
4 オプション品組立方法

① パネルサイドパーツ組立方法

- 1 パネルの辺と平行にし(左図)、サイドパーツを少し浮かせてはめ込みます。(右図)
※手を挟まないようにご注意ください。



- 2 パネルと連結したあと、サイドパーツの中央付近を下に押し、端の方も同様に押します。
(パネルとサイドパーツが噛み合う感覚が感じられます。)



② パネルコーナーパーツ組立方法

- 1 コーナーパーツはパネルに取り付けるのではなくサイドパーツに取り付けます。
サイドパーツが取り付けられたパネルの角を引き上げ、コーナーパーツの突起部がサイドパーツの端の穴にはまるように、コーナーパーツをパネルの下から当てて途中まではめます。



- 2 ある程度はまったらパネルを置いて、上から押してコーナーパーツをしっかりとめ込みます。
※押す際に手を挟まないようにご注意ください。

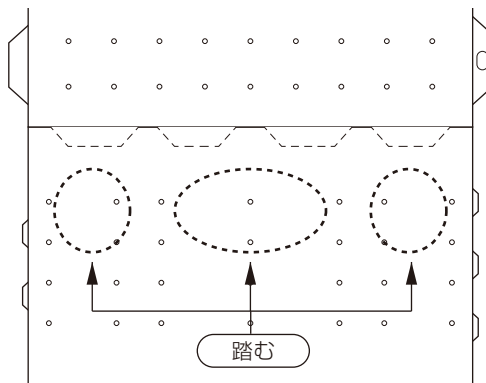


③ ADAスロープ組立方法

- ① パネルの辺と平行にし、スロープをパネルに押し込むと、スロープがパネルにはまります。



- ② パネルとスロープのロックを安定させるためにスロープの中央・左側・右側を踏みます。



- ③ ロックされればスロープの下面と設置面との間に隙間がなくなり、平行になります(図5)。



5 土壌面への設置について

土壌面への設置、特にワイドエリアへの設置については、季節や地域による気候変化や降雨等により、経年とともに設置面の変化が予想されます。下記内容をご確認の上、設置をご検討願います。

- ① 設置場所にある木・草・雑草等の植物や石を取り除きます。



- ② 水平な状態に転圧します。(設置場所は水平に固く転圧されている必要があります。) 排水の必要性に応じて、0.5%~1%の勾配を設けるなどの対策が必要です。排水の専門家にご相談ください。



- ③ 土壌面にパネルを直接設置した場合、降雨・気温変化・凍結等により、土壌の表面が変形したり、設置したパネル自体の重さでパネルが沈む等、経年とともに異常発生の危険性が高くなります。設置場所に安定用のジオテキスタイル繊維(ジオシンセティック繊維)を敷くことで安定させることが可能です。排水の必要性に応じて、ジオテキスタイル繊維の透水性の有無を選択したり、0.5%~1%の勾配を設けるなどの対策が必要です。排水の専門家にご相談ください。

